

アマチュア 『疑心暗鬼』

プロとアマチュアの違いは、
自然を見方に付けたか、敵にまわしたか。

バリューゴルフ
VALUE GOLF
www.valuegolf.co.jp

『賞品から見る世相』

今季最後の国内メジャー男子ゴルフ大会「日本シリーズJ.Tカップ」も終わり、新しい年を迎える。

ご存知の通り、ゴルフの大会には、主催者となっている企業名が冠されていることが多い。ツアートーナメントのスケジュールを見てみると、長い間スポンサーをしていただいたいの会社に加え、有り難いことに新しい会社も名を連ねている。ミスノやPGA、ブリヂストン、ヨネックスなどゴルフに直接関係のある会社だけでなく、ANA(全日本空輸)、マイナビ、Tポイント、スタジオアリスなど業種業態もさまざまである。

今回は、そのスポンサーからの賞品に注目してみたい。世相を反映してか、または現在の経済状況が影響しているからか、最近は賞として車を贈ることが以前よりも少なくなっている。その代わりというわけではないが、副賞を見ていると、各企業が大変工夫を凝らされていて、もつと注目をしてもらいたいと思っ

る。例えば、夏に行われた女子の「CAT Ladies」。ユニークな副賞で有名なので、ご存知の方もいると思うが、建設機械メーカーのキャタピラージャパン(株)が主催する大会となり、副賞は同社が設計・製造する建設機械となっている。この副賞、実は狙っているゴルフアームは多く、過去に獲得した選手の中だと、今年引退した宮里藍選手は、子供のころか

ら通っていたゴルフ練習場に贈呈、2006年の勝者である西塚美希世選手も所属のコースに贈っている。横峯さくら選手は、父・良郎氏が主宰する練習場に寄贈した。

さらに、2015年9月の関東・東北豪雨の災害から1週間後のコマツオープンで優勝したシニアツアーの崎山武志選手は、副賞としてもらったミニショベルカーを、地元への恩返しという事で、栃木の被災地に寄贈している。こうした副賞の使い道もある。

また、私がトーナメントをはじめたころでは考えられなかったが、特別賞として、Tポイント30万ポイント(ENEOS提供)や、携帯電話通話料10年分無料(ソフトバンク提供)などもあり、実に思考が凝らされていて注目をしているところである。

2018年も無数のドラマが待ち受けているであろう。



戸張 捷 Sho Tobari

1945年、東京生まれ。
高校からゴルフを始め、3年で全日本ジュニア3位、大学4年で日本アマ9位。住友ゴム工業(現SRIスポーツ)に入社後、株式会社ダンロップスポーツエンタープライズへ出向。トーナメントディレクター、プロデューサーとして日本ゴルフ界に貢献した。現在は、ゴルフキャスターとして活躍するほか、ゴルフトーナメントやイベントのプロデュース、コンサルティングなども手掛けている。